

広報やいた City of Yaita Public Relations

平成 29 年度 予算特集号

もくじ

矢板市の今年度予算について……………	2-3	第4章 安心・安全で快適に暮らせるまちづくり……………	10
平成 29 年度 主な新規事業……………	4-5	第5章 活力と活気にあふれるまちづくり……………	11
第1章 いつまでも健康でいきいきしているまちづくり…	6-7	第6章 市民と行政が一体となったまちづくり……………	12
第2章 一人ひとりの笑顔が輝くまちづくり……………	8	第7章 行財政基盤の安定したまちづくり……………	12
第3章 豊かな自然を大切にすまちづくり……………	9	矢板市の財政状況について……………	13-15

市民の皆さんへ



平成 29 年度の日本の経済は、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動により、景気が下押しされるリスクに留意する必要があるものの、先行きについては、各種政策の効果による雇用・所得環境の改善傾向が続き、緩やかに景気が回復していくものと見込まれています。

このような中で、矢板市の財政は、平成 27 年度決算においては、歳入の根幹である市税収入は前年度と比較して減少に転じました。ピーク時の平成 19 年度と比較して約 11 億円減少するなど、自主財源を確保することが難しい状況が続いています。一方、歳出においては、福祉関係の扶助費、介護保険および国民健康保険への繰出金が増加を続けている状況であるため、柔軟性に欠いた財政運営になっています。

しかしながら、その一方で平成 29 年度は、市政運営の指針である「第 2 次 21 世紀矢板市総合計画」の「後期基本計画」および「矢板市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく初めての予算編成となることから、総

合計画の 5 つの重点計画、総合戦略の 4 つの基本目標に取り組みながら、新たな行政課題についても施策の優先順位を見極めつつ、的確に対応していく必要があります。

そのため、今年度予算は「矢板未来づくりスタート予算」と命名し、歳入・歳出全般にわたり徹底した見直しを行い、必要な財源を確保しながら、財源の重点的・効率的な配分に徹する方針で予算編成を行って参りました。

この予算特集号は、市の財政状況や予算がどのように使われているのかを、総合計画の分野別計画の 7 項目に分け、わかりやすく表現することを心掛け作成しました。市の財政状況や事業をお知らせすることは、市民と行政が協働したまちづくりを進めていくために、とても大切なことであると考えています。市民の皆さんが、市の財政や事業を身近に感じ、少しでも関心を持っていただくきっかけとなれば幸いです。

矢板市が将来にわたって活力と魅力あるまちとして発展し続けるために、教育、福祉、医療をはじめ、生活の利便性向上や働く場所の確保など、さまざまな施策を行い、「子どもや孫が帰ってくるまちづくり」が具現化できるよう取り組んで参ります。

矢板市長 齋藤 淳一郎

矢板市の今年度予算

130 億 2,000 万円（一般会計）

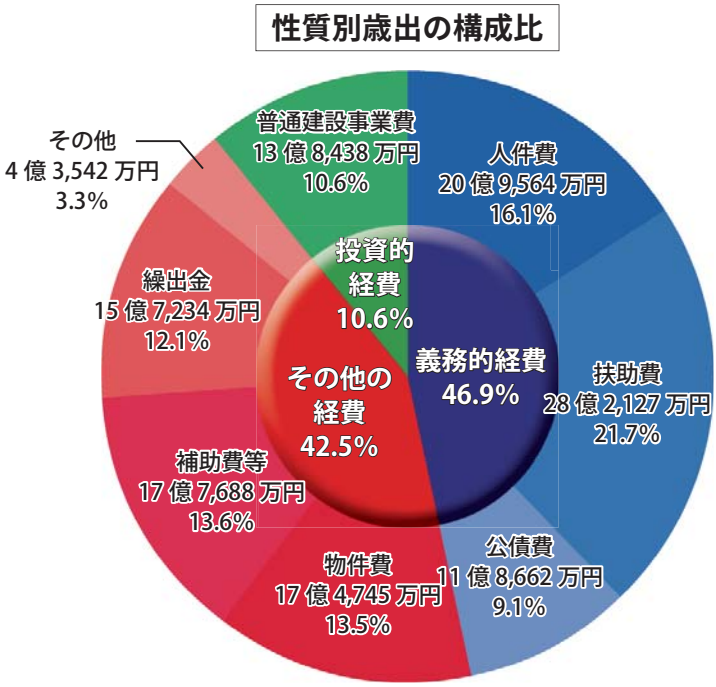
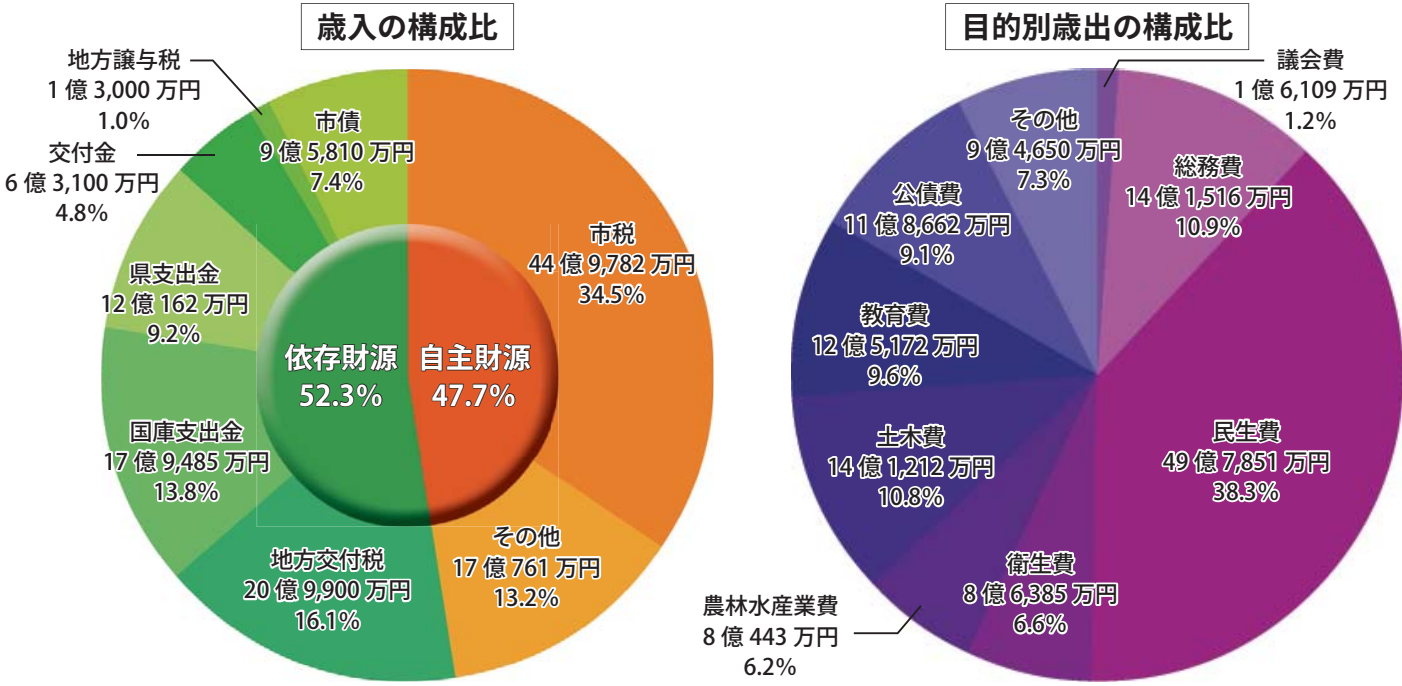
会計別予算額

区分		平成 29 年度 A	平成 28 年度 B	増減額 A－B	伸び率 %
一般会計		130億2,000万円	126億2,000万円	4億 円	3.2%
特別会計	介護保険	30億 400万円	27億9,520万円	2億 880万円	7.5%
	国民健康保険	43億8,210万円	45億1,980万円	△1億3,770万円	△3.0%
	後期高齢者医療	3億4,120万円	3億3,320万円	800万円	2.4%
	農業集落排水事業	5,800万円	5,680万円	120万円	2.1%
	公共下水道事業	8億9,010万円	8億5,160万円	3,850万円	4.5%
	コリーナ矢板排水処理事業	1,760万円	1,730万円	30万円	1.7%
	木幡宅地造成事業	1億5,040万円	1億9,770万円	△4,730万円	△23.9%
小計		88億4,340万円	87億7,160万円	7,180万円	0.8%
水道事業会計		12億8,500万円	11億6,770万円	1億1,730万円	10.0%
合計		231億4,840万円	225億5,930万円	5億8,910万円	2.6%

一般会計…市の基本となる会計

特別会計…特定の歳入を特定の事業に充て、一般会計と区別して経理する会計

予算の各構成比



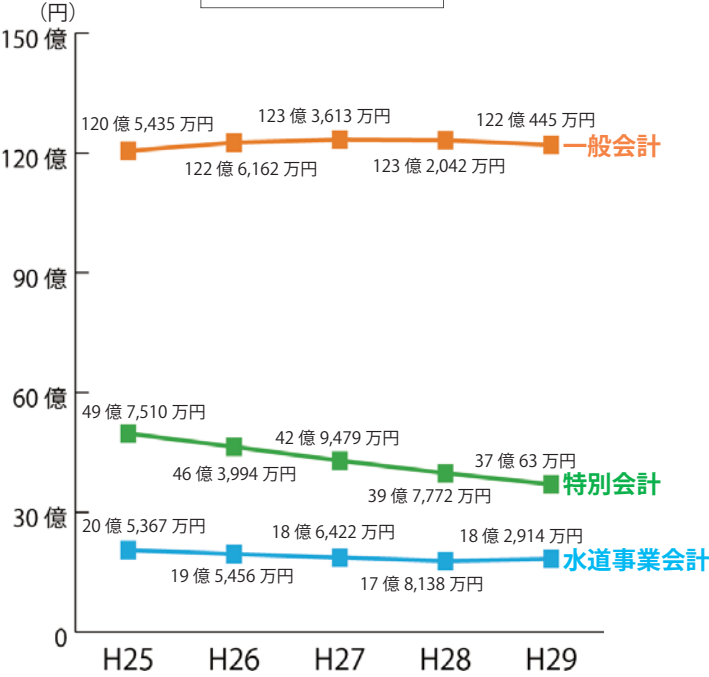
【歳入】

市税のうち、法人市民税には若干回復の兆し、固定資産税には新築家屋や償却資産の増加が見込まれますが、個人市民税は納税義務者数はわずかに増加するものの課税標準額が下がることで、減少する見込みです。

市税全体では微増の見込みとなっていますが、ピーク時の平成 19 年度と比較すると約 11 億円も減少していることから、自主財源を確保することが難しい状況が続いています。

※用語解説は、13 ページをご覧ください。

市債残高の推移



【歳出】

扶助費は、年金生活者等支援臨時福祉給付金事業、および生活保護者援護事業などの減少により、6,390 万円の減となっています。

投資的経費のうち補助事業費は、保育施設整備補助事業および団体営基盤整備促進事業などの増加により、3 億 1,788 万円の増となっています。

また、積立金は、ふるさと納税基金への積立金の増加により、4,972 万円の増となっています。

在宅高齢者支援サービス事業

高齢対策課

50 万円

国	—	県	—
般	50 万円	他	—

市営バスの無料パス交付

高齢者の外出支援を行うことで、高齢者の健康・生きがいづくり活動への参加促進を図ります。平成 29 年度は試験的に、75 歳以上の高齢者を対象に市営バスの無料パス券を交付します。



健康増進事業

健康増進課

6,645 万円

国	—	県	203 万円
般	4,920 万円	他	2 万円
国保特別会計			1,520 万円

ワンコイン検診

がん検診等の自己負担額を軽減し、健診を受診しやすくするため、主な成人検診の料金を 500 円で受診できるようにします。受診率の向上を図り重症化を予防することで、医療費の削減につなげます。

ワンコインで受診できる主な健診

- ・特定健診（国民健康保険）
- ・胃がん検診
- ・大腸がん検診
- ・乳がん検診
- ・子宮がん検診 など

※対象者、年齢要件など
詳しくはお問い合わせください



有害獣駆除事業

農林課

291 万円

国	—	県	121 万円
般	170 万円	他	—

緊急捕獲等対策・防止柵設置事業補助

有害鳥獣（シカ・イノシシ・クマ等）の捕獲体制の強化と防止柵設置の補助を行います。これにより、住民の生命や財産に対する被害の軽減を図ります。

実施隊員への賃金	
ワナの設置・捕獲	3,000 円（1 日）
巻狩の実施	3,000 円（1 日）
侵入防止柵の設置確認、設置指導	3,000 円（1 日）
ワナの見回り	1,000 円（時給）
実施隊員への捕獲報奨金	
シカの捕獲	12,000 円（1 頭）
イノシシの捕獲	12,000 円（1 頭）

商業等活性化支援事業

商工観光課

1,000 万円

国	—	県	—
般	1,000 万円	他	—

子育て世代を対象としたプレミアム付商品券補助

子育て世帯の積極的な支援を図るため、商工会発行のプレミアム付商品券の一部を、子育て世帯向けにプレミアム率の上乗せをして販売するための補助を行います。



事業名	担当課	内容	事業費	
政策調査事業	総合政策課	地方創生人材支援制度（民間人 1 名） 意欲と能力のある外部人材を市長の補佐役に迎えて、地方創生に積極的に取り組みます。	177 万円	
			国 一般 177 万円 県 他 177 万円	
財産管理事務	総務課	公共施設再配置計画策定 矢板市公共施設等総合管理計画に基づき、公共施設の老朽化対策や適正配置にかかる計画を策定します。	872 万円	
			国 一般 872 万円 県 他 872 万円	
障がい者権利擁護事業	社会福祉課	ヘルプカード・障がい者差別解消周知用パンフレット 障がいの有無にかかわらず共に支え合う地域社会の実現を目指し、ヘルプカード・パンフレットを作成し配布します。	44 万円	
			国 一般 44 万円 県 他 44 万円	
介護保険施設等整備補助事業	高齢対策課	特別養護老人ホーム（2 施設）整備補助 地域密着型特養新設（29 床）、広域型特養増床（30 床）の施設整備に必要な費用の一部を補助します。	1 億 2,572 万円	
			国 一般 972 万円 県 他 1 億 1,600 万円	
子育て支援事業	子ども課	婚活イベント開催 市主催の婚活イベントを年 3 回実施します。	216 万円	
			国 一般 108 万円 県 他 108 万円	
子育て短期支援事業		夜間養護等事業（トワイライトステイ） 休日や夜間に、保護者が仕事等により子どもを見ることができないとき、一時的に子どもを施設で預かりすることで、安心して子育てができる環境をつくれます。	6 万円	
			国 一般 1 万円 県 他 2 万円	
保育施設整備補助事業		認定こども園（2 施設）施設整備補助 認定こども園の施設整備に必要な費用の一部を補助します。	2 億 2,154 万円	
			国 一般 1 億 4,769 万円 県 市 1,855 万円 5,530 万円	
塩谷広域環境施設建設事業	くらし安全環境課	塩谷広域行政組合次期環境施設建設費負担金 塩谷広域行政組合次期環境施設の整備費用について、構成市町がそれぞれ負担します。	1 億 1,496 万円	
			国 一般 1 億 1,496 万円 県 他 1 億 1,496 万円	
道の駅管理事業	農林課	フリースポット（公共無線 LAN）設置 道の駅やいたに無線通信ができる環境を整備します。	130 万円	
			国 一般 130 万円 県 他 130 万円	
地籍調査事業		地籍調査 2 地区（下太田、東泉地区） 下太田地区と東泉地区の地籍調査を実施します。	3,169 万円	
			国 一般 962 万円 県 他 2,197 万円 10 万円	
片岡地区市街地整備事業	都市整備課	片岡駅東口駅前広場整備 片岡駅東口駅前広場の整備を進めます。	5,365 万円	
			国 他 1,405 万円 県 市 3,960 万円	
教職員研修事業	教育総務課	教員研修用外国語 DVD 作成 小学校の外国語の教科化に向けた教員向け DVD を作成します。	50 万円	
			国 一般 50 万円 県 他 50 万円	
小学校給食事業		農とつながる地産地消推進事業（矢板小学校） 地場産物の学校給食への活用と生産者との交流体験を行います。	30 万円	
			国 一般 15 万円 県 他 15 万円	

子ども予防接種事業

子ども課

6,366 万円

国	—	県	—
般	6,366 万円	他	—

子どもの定期予防接種や、任意予防接種（ロタ、インフルエンザ中 3、高 3）の費用を助成します。

予防接種の種類

定期予防接種	ヒブ、小児用肺炎球菌 四種混合（ジフテリア、百日せき、破傷風、ポリオ） 不活化ポリオ、麻しん風しん混合（MR） 水痘、日本脳炎、子宮頸がん、BCG、 二種混合（ジフテリア、破傷風）、B 型肝炎
任意予防接種 (公費負担しているもの)	ロタ インフルエンザ（中 3、高 3）

子育て支援給付事業

子ども課

375 万円

国	—	県	—
般	375 万円	他	—

第二子以降の誕生に、やいたみらいっ子誕生祝金として、祝い金 3 万円を支給し、少子化対策と児童の健全な育成を図ります。



誕生祝金贈呈

健康増進事業

健康増進課

100 万円

国	50 万円	県	—
般	50 万円	他	—

気軽に運動に取り組んでいただくため、新たなウォーキングコースを設定し、消費カロリーや距離を表示したコースマップを作成・配布し、市民のみなさんの健康増進を図ります。



ウォーキングイベント

成人予防接種事業

健康増進課

2,127 万円

国	—	県	—
般	2,127 万円	他	—

市民のみなさんが健康に生活できるよう、また、疾病のまん延による社会機能の低下を防ぐために、インフルエンザや高齢者用肺炎球菌ワクチン、風しんワクチンの予防接種費用を助成します。



予防接種

事業名	担当課	内容	事業費
民間保育所運営補助事業	子ども課	民間保育所の運営費や、保育士増員、病児・病後児保育事業等にかかる費用を補助します。	7,304 万円 国 — 県 3,015 万円 般 4,265 万円 他 24 万円
子育て支援事業		家庭相談員・育児支援家庭訪問支援員が、援護を必要とする子どもと家庭への支援を行います。また、児童の健全育成を図るため、「こどものひろば」管理運営や絵本を配布するブックスタート事業等を行います。	1,077 万円 国 — 県 284 万円 般 793 万円 他 —
母子保健事業		3 カ月児健診や 4 カ月児健診などのほか、妊婦健康診査費・不妊治療費を助成します。	3,646 万円 国 72 万円 県 122 万円 般 3,452 万円 他 —
施設型等給付費		より質の高い教育・保育が受けられるよう、認定こども園や保育園などに対し、給付費を支給します。	8 億 1,587 万円 国 2 億 8,150 万円 県 1 億 6,268 万円 般 2 億 7,284 万円 他 9,885 万円
児童手当支給事業		義務教育終了前の児童を養育する家庭における生活安定に寄与するとともに、次世代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的として、手当を支給します。	5 億 1,500 万円 国 3 億 5,663 万円 県 7,918 万円 般 7,919 万円 他 —
児童扶養手当支給事業		父母の離婚等で、父または母と生計を同じくしていない児童や、親が重度の障害の状態にある児童について、心身ともに健やかな成長に資することを目的として、手当を支給します。	1 億 3,592 万円 国 4,509 万円 県 32 万円 般 9,051 万円 他 —

事業名	担当課	内容	事業費
介護保険事業	高齢対策課	居宅介護・施設介護サービス等の介護保険事業を実施し、被保険者の福祉増進を図ります。	30 億 400 万円 国 6 億 8,372 万円 県 4 億 2,506 万円 般 571 万円 他 18 億 8,951 万円
在宅介護支援サービス事業		高齢者宅への訪問による相談対応、寝たきり高齢者を介護する家族への手当支給、ひとり暮らし高齢者等への緊急通報装置の貸与など老人福祉の増進を図ります。	1,096 万円 国 — 県 — 般 1,096 万円 他 —
保健総務推進事業	健康増進課	新型インフルエンザに備え、従事者向けに防護服を購入します。	97 万円 国 — 県 — 般 97 万円 他 —
国民健康保険事業		国民健康保険加入者の疾病、負傷、出産または死亡に関して必要な保険給付を行い、被保険者の医療保障と福祉の増進に要する経費です。	43 億 8,210 万円 国 8 億 8,790 万円 県 2 億 578 万円 般 8 億 6,029 万円 他 24 億 2,813 万円
後期高齢者医療事業		後期高齢者医療制度加入者の健康保持と適切な医療の確保に要する経費です。	3 億 4,120 万円 国 — 県 — 般 300 万円 他 3 億 3,820 万円
地域医療支援事業		救急医療対策、休日当番医、塩谷地区夜間診療室などに要する経費です。	1,802 万円 国 — 県 — 般 1,802 万円 他 —

中学生海外派遣事業

教育総務課

600 万円

国	—	県	—
一般	600 万円	他	—

中学生が外国の風土や文化について学び、外国の人々との交流等の体験を通して、ふるさとへの客観的な視点と国際性豊かな感覚を身に付けるとともに、将来の地域社会の発展に資する人材を育成します。



派遣先での外国の子どもたちとの交流

小・中学校教育振興事業

教育総務課

7,813 万円

国	30 万円	県	—
一般	7,783 万円	他	—

小・中学校での授業が、より円滑に実施できるように支援します。また、教育費の経済的負担の軽減を図るため、就学援助などを行います。



授業風景

事業名	担当課	内容	事業費
矢板市立学校 教職員配置事業	教育総務課	小・中学校に非常勤職員を配置し、児童・生徒一人ひとりに目の行き届いたきめ細かで効果的な教育を実現します。	7,739 万円 国 一般 7,739 万円 県 他 ー
図書館管理運営事業	生涯学習課	市民の教養・文化向上に資するため、図書館の管理・運営委託や修繕を行います。	4,673 万円 国 一般 4,673 万円 県 他 ー
郷土資料館 管理運営事業		郷土の資料を展示する常設展のほか、企画展や各種体験事業を行います。	1,019 万円 国 一般 1,019 万円 県 他 ー
矢板武記念館 管理運営事業		郷土への関心を高めるため、矢板武記念館を管理・運営します。	690 万円 国 一般 665 万円 県 他 25 万円
矢板たかはらマラソン 大会開催事業		矢板たかはらマラソン大会の開催・運営を行います。	250 万円 国 一般 150 万円 県 他 100 万円
成人式開催事業		新成人主体の実行委員会を組織し、自ら企画・運営する成人式を支援します。	58 万円 国 一般 58 万円 県 他 ー

環境保全事業

147 万円

国	—	県	—
般	147 万円	他	—

「環境文化都市やいた創造会議」による協働プロジェクトの推進や、小学生による水辺の環境学習、環境人材の育成を行います。



水辺の環境学習

くらし安全環境課

水道施設整備事業

3 億 9,867 万円

企業債	2 億円	他	3,991 万円
自己財源			1 億 5,876 万円

各家庭に水を送るための水道管を敷設したり、水源施設を整備します。



水道管敷設工事

水道課

事業名	担当課	内容	事業費
新エネルギー利用促進事業	くらし安全環境課	住宅用太陽光発電システムを設置する市民の方に、設置費の一部を補助します。	480 万円 国 — 県 — 般 480 万円 他 —
エコモデルハウス運営事業		エコモデルハウスの管理・運営を行います。	557 万円 国 — 県 — 般 557 万円 他 —
塩谷広域塵芥処理事業 じんがい		塩谷広域環境衛生センターの運営・維持管理に要する経費や焼却灰溶融処理委託など、ごみの処理費用のうち、矢板市負担分を支出します。	1 億 6,792 万円 国 — 県 — 般 1 億 6,792 万円 他 —
ごみ収集事業		一般家庭から排出されるごみの収集運搬（可燃、不燃、資源物）と可燃ごみ用指定袋を作成します。	7,530 万円 国 — 県 — 般 2,442 万円 他 5,088 万円
公共下水道水処理センター管理事業	下水道課	家庭等から排出される下水を適切に処理するための水処理センターを管理・運営します。	1 億 6,157 万円 国 — 県 — 般 — 他 1 億 6,157 万円
公共下水道管渠築造事業 かんきょ		衛生的で快適な住環境の向上と河川等の水質保全のため、下水道管の整備や汚水樹設置を行います。	1 億 9,505 万円 国 3,188 万円 般 1,327 万円 他 710 万円 市 1 億 4,280 万円

スマート IC 整備事業

建設課

9,134 万円

国	5,005 万円	県	—
他	449 万円	市	3,680 万円

矢板北 PA に設置するスマート IC (インターチェンジ) の整備に向け、予定区間の詳細設計および用地測量を進めます。



橋りょう維持事業

建設課

1 億 230 万円

国	5,186 万円	県	—
般	2,364 万円	市	2,680 万円

老朽化した市道橋の点検を行い、その結果に基づき、計画的に修繕を行って交通の安全確保に努めます。



橋梁補修工事 (晴虹橋)

事業名	担当課	内容	事業費			
市営バス運行事業	総務課	市民の交通の利便性を図り、生活福祉を向上させるために、市内のバス路線を整備し、3 台の市営バスを運行します。 1 号車：青ライン (泉線・長井線) 2 号車：緑ライン (片岡線・安沢線) 3 号車：紫ライン (中央環状線・沢線・塩田線)	2,510 万円			
			国	—	県	30 万円
			般	2,120 万円	他	360 万円
バス路線対策事業	総合政策課	矢板駅～新高徳駅間を生活交通路線として、矢板市・日光市・塩谷町の 3 市町が乗入率により負担金を出し合い、委託バスを運行します。	900 万円			
			国	—	県	—
			般	900 万円	他	—
消防団活動事業		消防団員の報酬や出動旅費、装備品の購入、訓練など消防団の活動に要する経費です。	3,898 万円			
			国	—	県	—
			般	3,898 万円	他	—
防災活動推進事業	くらし安全環境課	防災行政無線などの防災設備の維持管理、非常食の備蓄などを行います。	1,504 万円			
			国	—	県	—
			般	1,504 万円	他	—
消費者行政対策事業 (消費生活センター)		さまざまな消費生活問題の相談や、トラブルに巻き込まれないための正しい情報を提供するなど、消費生活の向上と安全を推進します。また、多重債務の相談も受け付けます。	266 万円			
			国	—	県	20 万円
			般	192 万円	他	54 万円
市道維持管理事業	建設課	側溝整備や道路施設の清掃、街路樹などの剪定、害虫駆除を行うほか、補修・補強などの改善を行います。	3,850 万円			
			国	—	県	—
			般	3,550 万円	他	300 万円

農業振興事業

農林課

4,262 万円

国	—	県	3,125 万円
般	1,101 万円	他	36 万円

地産地消の推進、病虫害防除、新規就農者研修、園芸作物振興支援、農産物生産拡大の各種補助などを行います。



緑とつつじの八方高原ふるさと便

スポーツツーリズム推進事業

商工観光課

731 万円

国	167 万円	県	—
般	564 万円	他	—

スポーツによる交流人口の拡大と観光関連事業との融合により、地域経済への波及効果などを目指します。



サッカークリニック

事業名	担当課	内容	事業費
森林環境整備事業	農林課	弓張市有林などの下刈りやふるさとの森（城の湯温泉センター西側）の下刈りなどを行い、森林の整備と多面的活用を図ります。	434 万円 国 一般 362 万円 県 72 万円 他 —
県営中山間地域総合整備事業（高原地区）		農業・農村の活性化を図るため、中山間地域総合整備事業を実施します。	5,462 万円 国 一般 1,376 万円 県 16 万円 市 4,070 万円
道の駅管理事業		「道の駅やいた」の農産物直売所や農村レストランなどが入る「つつじの郷交流館」の維持管理を行い、利用者に質の高いサービスを提供します。	852 万円 国 一般 852 万円 県 — 他 —
商業等活性化支援事業	商工観光課	商店街ににぎわいを創り出す事業へ補助を行い、商業の活性化を図ります。また、後継者の育成を支援するための補助や、地場産業のPRを促進する補助を行います。	426 万円 国 一般 426 万円 県 — 他 —
観光 PR 事業		花火大会や駅前イルミネーション、アンテナショップなどでのイベント実施など、矢板市の魅力を広く内外にPRし、市のイメージアップや商業活性化を推進します。	888 万円 国 一般 885 万円 県 — 他 3 万円
企業誘致推進事業		企業の立地促進を図るため、企業誘致推進員からの情報収集、企業訪問、企業を対象とした各種イベントにおけるPR活動や企業に対する各種奨励金の交付などを行います。	6,037 万円 国 一般 6,037 万円 県 — 他 —

第6章 市民と行政が一体となったまちづくり

国…国庫支出金
県…県支出金 市…市債
般…一般財源 他…その他

事業名	担当課	内容	事業費
行政区活動事業	総務課	行政区と連携し、住民の皆さまの要望等の把握に努め、円滑な市政の推進を図ります。	1,479 万円
			国 ー 県 ー 般 1,479 万円 他 ー
広報やいた発行事業	秘書広報課	「広報やいた」や、「広報やいた予算特集号」を発行し、市のさまざまな情報提供を行います。	768 万円
			国 ー 県 ー 般 628 万円 他 140 万円
人権対策事業	くらし 安全環境課	生活の中の人権に関するさまざまな課題を理解し、また関心が深まるよう、各種啓発活動を推進します。	60 万円
			国 ー 県 3 万円 般 57 万円 他 ー
男女共同参画社会 推進事業	生涯学習課	誰もが自分らしく生き生きと暮らせる「男女共同参画社会」形成のために、広報紙発行、みんなのつどいの開催等による意識の啓発を図ります。また、女性団体、女性リーダーの育成支援を行います。	115 万円
			国 ー 県 ー 般 115 万円 他 ー



行政区活動（ごみ拾い）



みんなのつどい

第7章 行財政基盤の安定したまちづくり

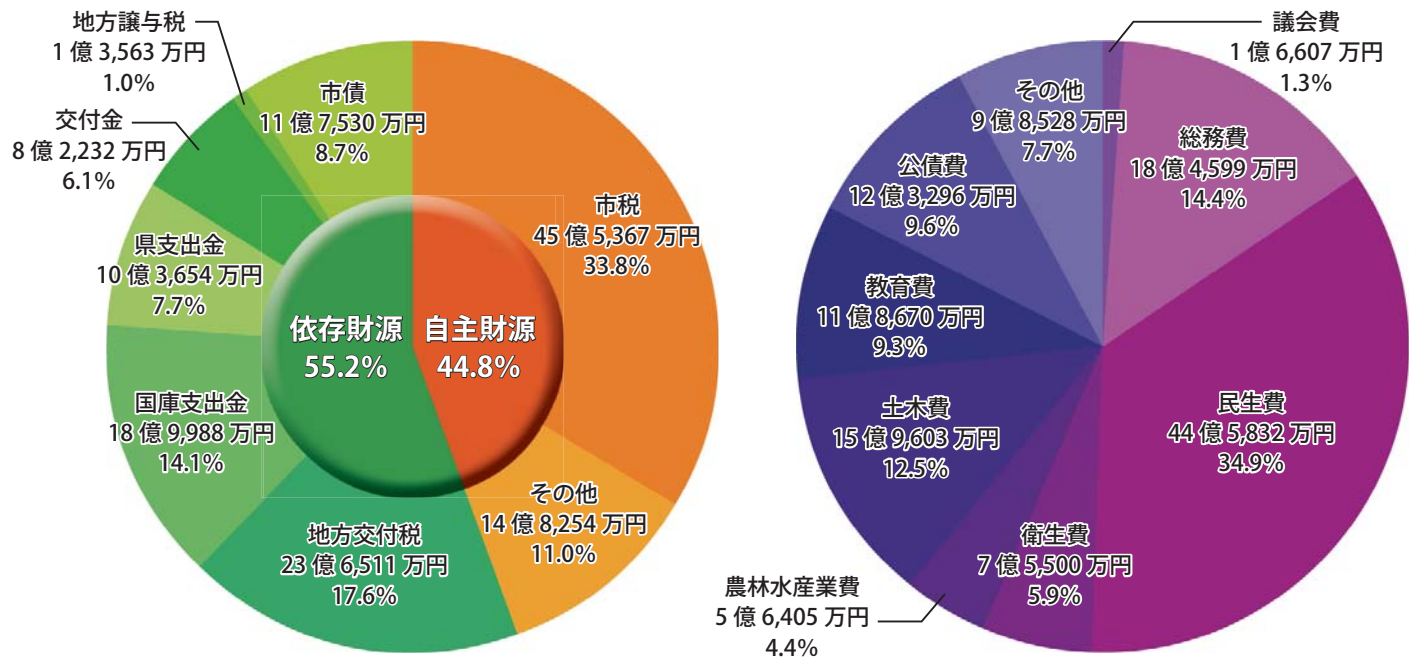
国…国庫支出金
県…県支出金 市…市債
般…一般財源 他…その他

事業名	担当課	内容	事業費
職員研修事業	総務課	行政実務能力の向上や行政課題に対する問題提起能力、政策立案能力の養成などを行うために必要な職員研修を行います。	344 万円
			国 ー 県 ー 般 342 万円 他 2 万円
市税等賦課徴収事務	税務課	市税 7,855 万円 国民健康保険 1,274 万円 介護保険 407 万円 後期高齢者医療制度 333 万円	9,869 万円
			国 ー 県 ー 般 8,207 万円 他 1,662 万円
議会運営事務	議会事務局	本会議、常任委員会、議会運営委員会、特別委員会及び諸会議の運営、会議録の調製、行政視察の実施、請願・陳情の審査を行います。	1 億 2,459 万円
			国 ー 県 ー 般 1 億 2,459 万円 他 ー
政務活動事業		市政に関する調査研究のために要した経費を、議会会派、または議員に対し、半期ごとの実績に応じて交付します。 (1 人当たり年額 24 万円を上限)	384 万円
			国 ー 県 ー 般 384 万円 他 ー

平成 27 年度 決算状況

一般会計

歳入 134 億 7,099 万円 歳出 127 億 9,040 万円



特別会計

会計名	介護保険	国民健康保険	後期高齢者医療	農業集落排水
歳入	27 億 5,912 万円	47 億 9,317 万円	3 億 3,244 万円	5,774 万円
歳出	26 億 2,776 万円	45 億 3,209 万円	3 億 2,096 万円	5,175 万円

会計名	公共下水道事業	コロナ矢板排水処理事業	木幡宅地造成事業
歳入	8 億 7,533 万円	1,889 万円	2 億 686 万円
歳出	8 億 4,280 万円	1,613 万円	1 億 9,301 万円

企業会計

水道事業	収益的	資本的
収入	7 億 8,400 万円	1 億 1,686 万円
支出	6 億 6,506 万円	4 億 4,933 万円

用語解説

歳入（自主財源）		衛生費	環境や健康の保持促進などにかかる経費です。
市税	皆さんが矢板市に納める税金です。	農林水産業費	農業・林業・水産業の振興にかかる経費です。
その他	分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、繰入金、繰越金などです。	土木費	道路や橋、公園などの整備管理などにかかる経費です。
歳入（依存財源）		教育費	学校教育や生涯学習の推進などにかかる経費です。
地方交付税	皆さんが国に納める税金の一部で、使い道は自由です。	公債費	市債の返済にかかる経費です。
国庫支出金	皆さんが国に納める税金の一部で、使い道が決められています。	その他	労働費、商工費、消防費、諸支出などです。
県支出金	皆さんが県に納める税金の一部で、使い道が決められています。	性質別歳出	
交付金	皆さんが国に納める税金の一部で、使い道は自由です。	人件費	職員の給料、議員の報酬などです。
地方譲与税	皆さんが国に納める税金の一部で、使い道は自由です。	扶助費	児童、低所得者や高齢者などの援助をするための給付金などです。
市債	国や金融機関などからの借入金（借金）です。	補助費等	公共団体への補助金などです。
目的別歳出		物件費	さまざまな事業の消耗品や光熱水費、備品の購入、賃借料、委託料などです。
議会費	議会運営や議員の議会活動などにかかる経費です。	繰出金	公共下水道事業特別会計や国民健康保険特別会計など、特別会計を支援するための支出です。
総務費	市役所の運営や広報やいたの発行などにかかる経費です。	その他	維持補修費、貸付金、積立金などです。
民生費	高齢者福祉や児童福祉、生活保護などにかかる経費です。	普通建設事業費	道路、公園などの施設を整備するための工事費などです。

過去 5 年間の推移

決算額の推移

～対前年比は歳入 3.1%、歳出 3.8% の減少～

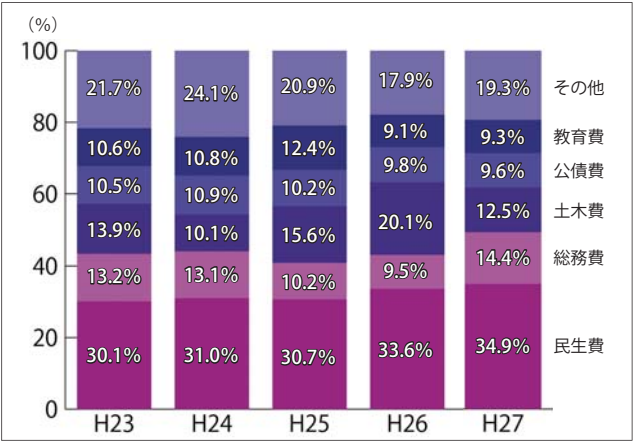


平成 27 年度は、片岡地区市街地整備事業や造成宅地滑動崩落緊急対策事業など、主要事業のピークが過ぎたことにより、歳入・歳出ともに減少しました。

歳入は、市税、国県補助金が減少しましたが、地方消費税交付金やふるさと納税寄附金などが増加しました。

目的別歳出の構成比の推移

～民生費の割合が総支出の 1/3 超に～



民生費は、歳出額は減少しましたが、予算規模が小さくなったため、総支出に占める割合は増加しました。

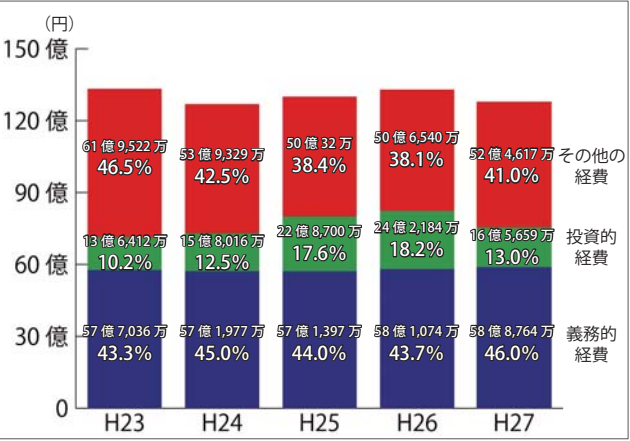
総務費は、フットボールセンター用地購入費や太陽光発電設備設置費補助などにより、増加しました。

土木費は、片岡地区市街地整備事業など主要事業がピークを過ぎたため、減少しました。

公債費は、前年度に引き続き、減少となりました。

性質別経費の推移

～義務的経費は 46.0%、投資的経費は減少～



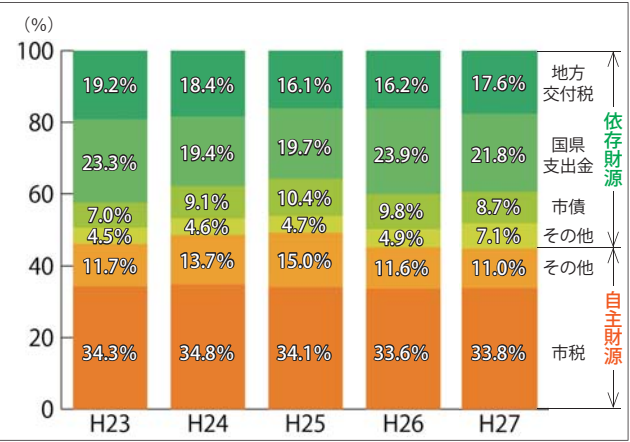
歳出は、投資的経費が減少した一方、扶助費、介護保険特別会計繰出金などの社会保障経費が引き続き増加しています。

※義務的経費…職員の給与等の人件費、生活保護等の扶助費および地方債の元利償還金等の公債費です。支出が義務付けられており、任意に削減できない経費です。

※投資的経費…道路、橋りょう、公園、学校、公営住宅の建設など社会資本整備に要する経費です。

財源の構成比の推移

～自主財源の割合が 44.8% に減少～



市税は、法人市民税や固定資産税の影響により減少しましたが、予算規模が小さくなったため、財源に占める割合は増加しました。

国県支出金は、片岡地区市街地整備事業など主要事業に係る補助金が減少しました。

市債は、臨時財政対策債および建設事業に係る借入金の減少したことにより、前年度より減少しました。

自主財源は、東日本大震災復興関連の基金の繰入金が増えたことなどにより、減少しました。

平成 27 年度 財政の健全化判断比率と資金不足比率

健全化判断比率と資金不足比率について

地方公共団体は、財政破たんを早期の段階で回避するために制定された「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」（平成 19 年法律第 94 号）の定めにより、健全化判断比率及び資金不足比率を算定し、公表することになっています。

健全化判断比率は、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率および将来負担比率からなります。

これらの比率が早期健全化基準を超過した場合、財政状況が注意水準にあると判断され、財政健全化計画を策定の上で、自主的に財政健全化を図ることになります。

矢板市の健全化判断比率と資金不足比率

矢板市の場合、平成 27 年度の各比率はすべて基準を下回っています。また、平成 26 年度の指標と比較しても改善していることから、健全な財政状況にあると判断

さらに、財政再生基準を超過した場合、財政状況が危険水準にあると判断され、財政再生計画を策定の上で、国等の関与のもと財政健全化を図ることになります。

資金不足比率は、各公営企業ごとに算定されることになっていて、矢板市の場合は、農業集落排水事業特別会計、公共下水道事業特別会計、木幡宅地造成事業特別会計および水道事業会計が該当しています。

この比率が、経営健全化基準を超えた場合、その公営企業は経営健全化計画を策定の上、経営の健全化を図っていく必要があります。

平成 27 年度矢板市健全化判断比率

項目	矢板市の比率	早期健全化基準	財政再生基準	平成 26 年度の比率
実質赤字比率 * 1	—	13.82%	20.00%	—
実質連結赤字比率 * 2	—	18.82%	30.00%	—
実質公債費比率 * 3	11.0%	25.0%	35.0%	11.8%
将来負担比率 * 4	60.4%	350.0%		65.6%

実質赤字比率と連結実質赤字比率については、赤字額がないため「—」で表示しています。

平成 27 度矢板市資金不足比率 * 5

会計名	矢板市の比率	経営健全化基準
農業集落排水事業特別会計	—	20.0%
公共下水道事業特別会計	—	20.0%
木幡宅地造成事業特別会計	—	20.0%
水道事業会計	—	20.0%

すべての会計において、資金不足額がないため「—」で表示しています。

- * 1 実質赤字比率
一般会計等（矢板市の場合は、一般会計とコロナ矢板排水処理事業特別会計を合算したもの）を対象とした、実質赤字の標準財政規模 * 6 に対する比率。一般会計等の赤字の大きさを把握するための指標。
- * 2 連結実質赤字比率
矢板市のすべての会計を対象とした、実質赤字の標準財政規模に対する比率。矢板市全体の赤字の大きさを把握するための指標。
- * 3 実質公債費比率
市が借りたお金を返済するために、一般会計等から充てている金額の標準財政規模に対する比率。標準的な一般財源 * 7 の額のうち、借金の返済に使われた金額の比率を把握するための指標。

- * 4 将来負担比率
一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の額の標準財政規模に対する比率。一般会計等が抱えている借金等の額が、標準的な一般財源の額の何年分になるのかを把握するための指標。
- * 5 資金不足比率
公営企業会計単位での資金不足額の事業規模に対する比率。公営企業として実施している事業単位で、赤字の大きさを把握するための指標。
- * 6 標準財政規模
地方公共団体の標準的な状態で通常収入されると見込まれる、経常的一般財源の規模を示すもの。
- * 7 一般財源
市税、普通交付税、譲与税など、用途を特定されずに、市が自由に使うことができる財源。

※比率の算出方法は、市ホームページ（トップページ＞組織でさがす＞総務課＞健全化判断比率及び資金不足比率）に掲載しています。

問い合わせ

担当課	電話番号	FAX 番号	担当課	電話番号	FAX 番号
総合政策課	(43) 1112	(43) 2292	建設課	(43) 6212	(43) 9790
電算統計班	(43) 1170		都市整備課	(43) 6213	
秘書広報課	(43) 3764		出納室	(43) 6215	(43) 5962
総務課	(43) 1113		議会事務局	(43) 6216	(44) 1000
税務課	(43) 1115	(43) 5404	教育総務課	(43) 6217	(43) 4432
社会福祉課	(43) 1116		生涯学習課	(43) 6218	(43) 4436
高齢対策課	(43) 3896		スポーツ推進班		
子ども課	(44) 3600		矢板公民館	(43) 0469	(43) 2213
健康増進課	(43) 1118	(43) 5962	泉公民館	(43) 0402	
くらし安全環境課	(43) 6755		片岡公民館	(48) 0101	
危機対策班	(43) 1114		選挙管理委員会	(43) 6219	(43) 6130
市民課	(43) 1117		監査委員事務局		
農林課	(43) 6210	(43) 3324	農業委員会事務局	(43) 6220	(44) 3324
地籍調査班	(43) 3062		水道課	(44) 1511	(43) 9770
商工観光課	(43) 6211		下水道課	(43) 6214	

編集・発行／矢板市秘書広報課 ☎ 0287 (43) 3764 FAX 0287 (43) 2292

HP <http://www.city.yaita.tochigi.jp/> ✉ yaita@city.yaita.tochigi.jp